

公開シンポジウム

『気候変動がもたらす 農林業への影響とその対策を考える』

日時：平成25年7月12日（金）13：00～17：00

場所：東京大学大学院農学生命科学研究科 中島董一郎記念ホール

主催：日本学術会議農学委員会育種学分科会、農学分科会

共催：日本育種学会

後援：日本作物学会、日本農業気象学会、日本土壌肥料学会

13：00～13：15 開会挨拶（倉田のり 育種学分科会委員長）

第1部 気候変動予測に基づく農林業への影響評価（司会：大杉 立）

13：15～13：50 最近の世界の影響評価研究の動向と農林業研究への期待

高橋 潔（国立環境研究所社会環境システム研究センター 主任研究員）

13：50～14：25 農業分野での適応の方向性と学際的研究連携の重要性

長谷川利拡（農業環境技術研究所 上席研究員）

14：25～15：00 森林管理分野における対応と気候変動緩和への期待

松本光朗（森林総合研究所 研究コーディネータ、REDD研究開発センター長）

15：00～15：15 休憩

第2部 気候変動に対応した研究開発の現状と目標（司会：奥野員敏）

15：15～15：50 中国黄土高原における環境ストレス耐性育種

武田和義（岡山大学名誉教授、第22期連携会員）

15：50～16：25 水稻の登熟期における高温耐性育種研究の現状と未来

小林麻子（福井県農業試験場 主任研究員）

16：25～17：00 気候変動に適応した果樹品種開発の目標と現状について

山本俊哉（農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所 上席研究員）

17：00 閉会挨拶（奥野員敏 育種学分科会副委員長）



*** 事前登録の必要はありません 問合先：筑波大学・奥野員敏(029-8553-6599)**